北海道産アルバローズの機能性を紹介

フェイスラボ

フェイスラボは、5月15日～17日にかけてパシフィコ横浜にて行われた「C-TEJapan2019」にブースを出展し、「北海道産アルバローズ（Snow Rose）エキスの機能性」をテーマに、マーケティング部 研究開発課の佐藤拓氏が3日間で計6回のミニセミナーを行った。

世界の香料用ローズオイルの約7割はブルガリアで生産されているが、そのほとんどがダマスクローズを原料としている。その一方で、白の花色ときわやかな香りが特徴のアルバローズは、「白バラの祖」と呼ばれ、生産量が少なく、大変希少なものとなっている。

バラの種類は2万5000種類ともいわれているが、花屋などの市場に流通するバラは主に観賞用に生育されたモダンローズで、エクアドルなどで大量に栽培されている。一方、アルバローズはオールドローズ（1867年以前に誕生、年に1度しか開花しない）に分類され、水蒸気蒸留法で1滴のエッセンシャルオイルを作るのに30個の花が必要といわれ、通常のダマスクローズの2倍の量が必要であることから、とても高級なものとして認識されている。

同社では現在、北海道大学の協力のもと、非常に育種が難しく、希少種となっている「国産アルバローズ」の栽培を北海道・北見で行っている。

「日本国内の栽培であることが、国内企業だけでなく海外企業からも注目を集めている」（同社）

セミナーでは、北海道で栽培するメリットについて、「7月でも平均気温が20℃くらいの適温で湿度も低い『バラに合った気候』であること、最高気温が32℃以上の日が1週間続くと生長が止まるバラにとって北海道は『真夏日が少ない（本州の4分の1）』こと、夏の気候が暑すぎずカラッとしている北海道は『無農薬栽培がしやすい』ことの3点が挙げられる」（佐藤氏）と説明した。

一方、温暖な夏に比べ、北海道の冬の寒さは厳しいが、「アルバローズはバラの中でも最も耐寒性が高く、北海道の厳しい寒さにも耐えられる」（佐藤氏）という。

同社では、農薬・化学肥料を使用せずに栽培したアルバローズを、花が咲くほんの1カ月の短い期間で、早朝から1輪ずつ丁寧に手摘みし、鮮度を維持するため摘み始めると同時にエキス抽出を開始している。

抽出にあたっては、環境・社会・人に優しいエシカル素材としての製造を目指し、花と水のみで行うスチーム蒸留（水蒸気蒸留）を採用。ローズウォーターの製造で得られる副産物を有効活用している。

アルバローズの機能性については、評価試験において「抗酸化物質であるトロロックスの22倍という極めて高い抗酸化活性」を確認しているほか、「酸化ストレスによるコラーゲン減少を抑制すること」を確認している。

そのほかにも、光老化や酸化に対する機能性が確認されている。

油脂工業会館

恒例の定期講演会を開催

油脂工業会館は5月14日、都内で第76回定期講演会を開催し、講師に招聘された日本経済新聞社 論説フェローの芹川洋一氏が「安倍政権の展望とその後」について講演した。

開催に先立って挨拶に登壇した澤田道隆理事長（花王社長）は、「今回講演される芹川先生には、日経広告研究所の理事長に就任している関係で、1度話を伺ったことがある。その際には、非常に深い話をわかりやすく伝えてくださり、感銘を受けた。今回の講演でも、非常に有用な話を聞くことができると思う」と語った。

澤田氏

芹川氏は、平成の政権を振り返った後、政治改革の問題点や安倍政権の特徴、次期自民党総裁候補などについて丁寧に解説した。

今後の消費増税と衆参同日選挙についても触れ、「既に各社が消費増税や複数税率への対応を進めていることを考えると、消費増税は実施されるだろう。そのため、消費増税は衆議院解散に向けて信を問う理由にならない。日朝首脳会談などによって情勢が変わるかもしれないが、衆参同日選挙の可能性は10～20％程度と思われる」と分析した。

都粧協

第69回通常総代会を開催

東京都化粧品装粧品小売協同組合（以下、都粧協）は5月24日、第69回通常総代会を都内ホテルにて開催した。役員改選期にあたり、松坂典良理事長が今総代会をもって退任し、長尾正幸氏が新理事長に選出された。

長尾新理事長

総代会で挨拶に立った松坂前理事長は、「元号が平成から令和に変わり、今年10月に消費増税が控え、来年には東京オリンピック・パラリンピックが開催される。周囲は目まぐるしく変化し、都粧協もこうした周りの変化に対応していかなければならない。お客様をキレイにして差し上げることで、心に安らぎやハリを与え、笑顔になってもらうことが大事だ。そのためにも、接客や技術に磨きをかけていくことなど、我々専門店ができることはまだまだあるはずだ」と述べた。

総代会後に行われた懇親会では、長尾新理事長が挨拶し、「新元号の令和は、万葉集の梅の花の歌から出典されている。この歌は化粧の歌とも言われ、お粉や香りという文字が書かれており、まさしく令和は化粧品業界の時代といえる。デジタル時代とも言われる令和だが、お客様に感動を与える都粧協専門店のおもてなしの心がこれからも不可欠であり、令和の時代も都粧協の存在感を示していきたい」と所信を表明した。

〈都粧協新三役〉

理事長＝長尾正幸氏（新任）▽副理事長＝山本好文氏（留任）、大場浩市氏（同）▽専務理事＝清水利明氏（新任）▽常務理事＝鈴木常生（留任）、烏之海貴芳氏（新任）

※松坂前理事長は顧問に就任。

大型旗艦店『@cosme TOKYO』年内出店へ

コスメネクスト

アイスタイルの連結子会社で、コスメセレクトショップ@cosmeストアを企画運営する株式会社コスメネクストは、2019年内を目標に、ブランド・サロン・ショップが集まり日本を代表するビューティの中心地である原宿駅前に、初の大型路面店であり、売場面積・取扱ブランド数ともに最大の店舗となる新体験フラッグシップショップ「@cosme TOKYO」を出店する。

@cosme storeは、「試せる、出会える、運命コスメ」をコンセプトに掲げ、2007年に1号店をオープンして以来、@cosmeの様々なコンテンツやデータベースを活用しながら、生活者視点を追求したMDや店舗企画、店舗運営を行い、現在では国内外34店舗を展開している。

今回の「@cosme TOKYO」では、これまで築いてきた@cosme storeのあり方をベースにしながらも、新時代にふさわしい新しい買い物体験を提供していく。

店舗概要／オープン日＝2019年内目標▽所在地＝東京都渋谷区神宮前1丁目14番27号▽売場面積＝約1300㎡